

# 9月定例会 第5次総合計画改定後のまちづくり、保育料など多様な質問展開

## 平良木、橋爪両議員の常任委員会報告



市議会は12日から厚生常任委員会が、18日にかかわる福祉や介護などの問題を取りあからは総務常任委員会がそれぞれ3日間にわたって開催されました。

厚生常任委員会では平良木議員が市民生活の暮らしを守るため奮闘しました。

### 放課後児童クラブは改善すべき課題多い

16日の厚生常任委員会では、放課後児童クラブの運営について質問が相次ぎました。

平良木議員は、「特別に支援が求められている児童が廊下で段ボールで囲われていたケースがある、市当局が適切な事業を実施した」としているのは納得できない」とのべました。他党派の議員からは、「大規模校の実態をどうとらえているのか。（開設している場所の）スペースが狭くて、酸欠になるほどすごい」という指摘もありました。6月議会で樋口議員が大規模校における「サウナ状態を改善してほしい」という関係者の声を紹介しています。放課後児童クラブについては改善課題が多いので、早急に手を打ってほしいものです。

### 保育料引き下げよ

保育料の滞納額が増え続けています。この解消に向けた対策強化が議論になりました。

平良木議員は、「滞納があるのは、ぎりぎりの暮らしをしていて保護者が多いからではないか。取り立てを強めるのではなく、支払うことのできる保育料にすることが大切ではないか。保育料は他市と比べて安いわけではない。むしろ、所得の低い層向けの保育料は柏崎市や妙高市と比べて割高になっている。この点をどう考えるか」と追及しました。同議員が問題にしたのはB、C階層の保育料。C2階層の3歳以上児では、上越市の料金は柏崎市よりも12000円、妙高市よりも20000円高くなっています。

平良木議員の質問に対して担当課長は、「（上越市の保育料は）国の基準に比べてかなり減額している。保育料は市の状況の違いもあり市ごとに異なる。見直すつもりはない」と答弁しました。払える力があるのに払わない保護者がいれば徴収強化は当然ですが、払いたくても払いきれない人の気持ちにより添って対策を考えるのが行政の務めではないでしょうか。

### バス運行対策の見直しは急務

まちづくり政策事業の分野で昨年度大きな仕事となつたのは第5次総合計画改定事業です。

改定作業そのものは昨年の12月議会で議決されたことによつて終わったのですが、その後の仕事の進み具合がいまひとつです。橋爪議員は、「本来なら、市の最上位計画である総合計画の改定に伴い、下位計画や



条例見直しをすぐにやる必要がある」とのべ、その作業のピッチをあげるよう求めました。竹田企画・地域振興部長は積極的な対応を約束しました。

バス運行対策費については委員会で議論が集中しました。毎年、バスの乗客が減少し、市の単独補助路線が増え続けています。昨年度、バス運行対策費補助金の対象となつた路線は67系統ありますが、そのうち市単独補助路線は27系統にもなりました。

当面の対策としては運行路線の見直し、乗客数に応じたバスの小型化などいくつかありますが、橋爪議員は、鉄道とバスの接続の悪さについて指摘し、改善を求めました。

バスを運行している会社からは燃料費の高騰にとまなう補助金の増額も要請も行政当局などに出されています。バス運行対策をどうするか抜本的な見直しはまいったりしました。

**日本共産党上越市議員団ニュース**

150 2008年9月28日

連絡先	橋爪 法一	548-3628	(吉川区代石)
	樋口 良子	544-6802	(中門前3)
	上野 公悦	530-2203	(頸城区中柳町)
	平良木 哲也	525-9096	(上中田)